



月報だよりの原稿は毎月20日に締切り、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は、翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は、e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

賞の推薦

第17回（2026年度／令和8年度） 「日本学術振興会 育志賞」候補者の推薦

1. 趣旨

日本学術振興会（以下「本会」という。）は、上皇陛下の天皇御即位20年にあたり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に上皇陛下から御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」（以下「育志賞」という。）を創設しました。

2. 対象分野

人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

3. 授賞等

授賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈します。

また、受賞者は、希望により、所定の申請手続きを経た場合、受賞の翌年度から日本学術振興会特別研究員等に採用されます。採用は、翌年度の4月1日における在学年次、学位の取得状況等に応じた採用区分の特別研究員又は外国人特別研究員となります。

4. 対象者

以下の①②の条件を満たす者を対象とします。

①我が国の大学院博士課程学生（海外からの留学生を含む）であって、令和8（2026）年4月1日において34歳未満の者で、令和8（2026）年5月1日において、次の1）から4）のいずれかに該当する者

- 1) 区分制の博士後期課程に在学する者
- 2) 一貫制の博士課程3年次以上の年次に在学する者
- 3) 後期3年だけの博士課程に在学する者

- 4) 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制博士課程に在学する者

※5月1日に休学中の者については、11月1日までに復学を予定している場合には、推薦できます。この場合は、令和8（2026）年11月1日において、1）から4）のいずれかに該当する必要があります。

- ②大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる者

5. 推薦権者

- 1) 我が国の大学の長（大学長推薦）
推薦数：人社系、理工系、生物系各2名まで、その他に分野を問わず2名までの計8名まで
※ただし各カテゴリーの推薦が男性のみの場合は各1名まで

- 2) 我が国の学術団体（日本学術会議協力学術研究団体に限る）の長（学会長推薦）
推薦数：2名まで

※ただし推薦が男性のみの場合は1名まで

※日本天文学会は上記2）に該当します。

※自薦・個人推薦は受け付けません。

6. 選考方法

推薦のあった候補者について、書類選考により面接選考対象者を決定し、面接選考（11月頃）を経て、日本学術振興会に設置する選考委員会において、候補者の分野別割合及び性別の割合を考慮しつつ、受賞者を決定します。

7. 日本学術振興会の受付期間

2026年5月21日(木)～5月26日(火) 17時必着

※電子申請システムは、2026年4月20日(月)から使用可能

※提出書類記入要領・電子申請マニュアルと提出前チェックリストについては、令和8年4月中旬頃に公開予定ですので、第17回（令和8年度）への推薦・応募にあたっては、必ず最新版をご参照の上、書類をご準備いただきますようお願いいたします。

〈日本天文学会の会長推薦（上記5.2）による応募を希望される方へ〉

上記概要だけでなく、下記リンク先「日本学術振興会 育志賞の推薦募集について」の説明をよくお読みいただいたうえで、2026年5月7日(木) 必着にて日本天文学会事務長 (jimucho@asj.or.jp) 宛に「様式1」以外の応募書類一式をPDFにてご送付ください。

日本学術振興会 育志賞の推薦募集について

<https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/yoshiki.html>

*「様式2」（1ページ目）は応募受付後学会事務にて電子申請システムに直接入力してPDFを生成しますので、作成用WORD様式は提供されません。本メールに添付した見本への記入（または任意書式）にてシステム入力に必要な情報（データ）をご提供ください。

*日本天文学会会長推薦へのご応募は日本天文学会会員の方に限らせていただきますので、応募書類送付メールに必ず会員番号をご記載ください。

*審査の公平性を期すため、上記〆切後の応募書類の提出・差替・追加は受け付けませんので、期限厳守のほどお願いします。

研究助成

公益財団法人住友財団

2026年度2件の研究助成

基礎科学研究助成

助成の趣旨：科学の進歩は社会の発展に大きな貢献を果たしてきました。科学は人類社会の未来を拓くことにつながるものです。この助成は、重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ新しい発想が期待される若手研究者による萌芽的な研究に対する支援を行うものです。

助成対象研究：数学、物理学、化学、生物学及びこれらの複合分野並びに工学の基礎分野における萌芽的研究

応募資格：2026年4月1日時点で45歳以下の若手研究者

①産前・産後休暇、育児休業等の取得により研究期間の中断がある場合は年齢要件を考慮しますので、応募前に事務局へお問い合わせ下さい。

②国籍に関係なく、日本の大学等の研究機関に所属し、申請に関する所属機関長の承諾がとれるのであれば応募可能です。

③上記②以外であっても、日本国籍を持つ者または

日本に永住を許可されている外国人は、応募可能です。尚、海外の大学等の研究機関に所属している者は所属機関長の承諾を得ることが必要です。

尚、申請者の所属が営利企業等（兼務を含む）の場合には応募不可です。

助成金：総額2億円（1件当たり最大500万円）

助成件数：40件程度

環境研究助成

助成の趣旨：現在、人類が直面している大きな問題の一つに環境問題があります。地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、生物種の減少、食料と人口、砂漠化、公害等様々な問題があり、その原因の探究と解決策の模索が続けられています。この助成は、環境問題の解決のためには、多面的アプローチによる分析と様々な対応策の構築が必要と考え、そのためのいろいろな観点（自然科学・社会科学・人文科学）からの研究に対する支援を行うものです。

助成対象研究：

- ・一般研究：環境に関する研究（分野は問いません。）

- ・課題研究：

2026年度募集課題

「地球のネイチャーポジティブを実現するための学際的または国際的研究」

応募資格：研究者個人または研究グループ

①国籍に関係なく、日本の大学等の研究機関に所属し、申請に関する所属機関長の承諾がとれるのであれば応募可能です。

②上記①以外であっても、日本国籍を持つ者または日本に永住を許可されている外国人は、応募可能です。尚、海外の大学等の研究機関に所属している者は所属機関長の承諾を得ることが必要です。尚、申請者の所属が営利企業等（兼務を含む）の場合には応募不可です。

助成金：総額1億円

一般研究 7,000万円 1件当たり最大 500万円

課題研究 3,000万円 1件当たり最大1,000万円

助成件数：

一般研究35件程度

課題研究3件程度

共通事項

募集期間：

2026年4月15日(水)～6月30日(火)

応募方法：財団ホームページ（本項最下部URL）から

応募ページにアクセスし、手順に従って申請書類を作成して、システムにアップロードすることで申請を行って下さい。

連絡先:

〒105-0012 東京都港区芝大門1-12-16
住友芝大門ビル2号館
公益財団法人 住友財団
TEL: 03-5473-0161 FAX: 03-5473-8471
E-mail:
基礎科学研究助成 basic.science@mail.sumitomo.or.jp
環境研究助成 environment@mail.sumitomo.or.jp
URL: <https://www.sumitomo.or.jp/>

会務案内

ハラスメント外部相談窓口の設置について

2025年12月の理事会および2026年1月の代議員総会での承認を受け、2026年4月にハラスメント外部相談窓口を設置いたしました。本窓口は、専門的な知見を持つ「公益財団法人21世紀職業財団」に委託して運営されます。

正会員、準会員、および事務所職員であればどなたでも利用可能です。ハラスメントに該当するかどうかに関わらず、誰かの言動や対応について不安や疑問を感じた方からの相談を受け付けます。相談の対象となるのは、年会など各種集会の開催中で生じた問題、委員会活動や事務所内で生じた問題などです。大学や研究機関などの所属組織内で生じた問題については、各機関が設置している相談窓口にて対応いただくことを想定しています。現時点では、第三者からの報告や通報は受け付けておりません。

相談にあたっては、相談者の個人情報保護を重視しており、匿名での相談も受け付けています。相談者が希望しない限り相談者情報は日本天文学会に報告されず、件数等の統計情報だけが報告されます。相談者が調査を希望する場合は、窓口から会長・副会長に通知され、実務理事会で対応を検討することになります。調査体制などについては、継続的に改善を検討していきます。現時点では、相談窓口の相談員の性別について相談者が選択・希望を行うことはできません。

具体的な相談方法については、学会ホームページに掲載の案内 (<https://www.asj.or.jp/jp/about/harassment/>) からパスワード保護されたページをご覧ください。会員向けには、このパスワード保護されたページへのアクセス情報（ユーザー名とパスワード）を示した紙面

案内を、本号に同封いたします。また、「TENNET」でも定期的にお知らせいたしますので、そちらもご確認ください。

外部相談窓口の利用方法について、相談の前後を問わず不明な点がある場合は、日本天文学会事務長 (jimucho@asj.or.jp) までお気軽にお問い合わせください。
日本天文学会 会長 太田耕司

天文月報表紙デザイン案大募集！

天文月報では、下記サイトにて翌年1年間の表紙デザインを常時募集しております。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/design/>

毎年8月末日、1年間で集まった作品を対象に、次年度の表紙デザインを選考いたします。

応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けております。

2027年の表紙を飾るデザインの応募は、2026年8月31日に締め切ります。応募の際は以下の概要を参照してください。

『天文月報』2027年表紙デザイン募集概要

■掲載期間

2027年1月号（第120巻1号）～2027年12月号（第120巻12号）

■デザインについて

表紙は以下の要素で構成してください。

- ・題字（『天文月報』）
- ・号数
- ・日本天文学会ロゴマーク
- ・記事タイトル（テキストは毎月指定）
- ・カラー画像（画像は毎月提供）
- ・背景イラスト

※すべての要素の配置を含めたデザインを作成してください。

※毎号に背景を変更しても、または背景を固定して配色・画像・テキストを変える形式でもどちらでも構いません。ただし、使用するフォントは年間を通して統一してください。

※参考：バックナンバー

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber/>

■使用素材

題字・ロゴマークは、以下のURLにある指定データを使用してください。題字は原型を崩さない範囲でアレンジ可能です。

題字:

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/geppou_title.jpg

ロゴマーク:

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/logo_J_black.eps

■応募方法

以下をアップローダーより提出してください。

- ・表紙デザイン案 (画像ファイル)
- ・コンセプト説明

提出先: 天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダー

https://stg.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/

ログイン情報:

ユーザー名: geppou, パスワード: toukou

■仕様

カラー: CMYK

ファイル形式: 不問 (※ PDF 添付必須)

サイズ: B5判 (182 mm × 257 mm ・ 縦)

■締切

2026年8月末日

■応募規定

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジ

ナル作品に限ります。

- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用してないものとします。

- ・採用された場合、作品の著作権については以下のように規定します。

*納品された表紙の著作権 (著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。) は日本天文学会に帰属します。

*表紙に使用したオリジナル原画の著作権 (著作権法21条から26条の3に規定する権利。) は日本天文学会に帰属します。

*著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する場合は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。

■その他

- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報、本要項による採用の通知のためだけに使用します。

- ・採用者には謝礼 (24万円/1年分) をお支払いします。

■お問い合わせ

日本天文学会ホームページお問い合わせフォーム

「天文月報について」

<https://www.asj.or.jp/jp/contact/>

天文月報 119巻6月号 主な掲載予定記事

すばる望遠鏡 学生PI現地観測プログラム特集 (2): 巻頭言【兒玉忠恭】 すばる HDS による明るい金属欠乏星の探索【岡田寛子】 すばる望遠鏡/MOIRCSを用いた若い超低質量天体の近赤外多天体分光観測—すばる望遠鏡現地観測体験記—【金井昂大】 アンドロメダの距離を測る【直川史寛】 近赤外線分光観測に基づく遠方クエーサーのアウトフロー探査と MOIRCS データ解析パイプラインの開発【高橋歩美】

EUREKA: 銀河形状の大規模整列: 銀河の形は初期宇宙を覚えているか?【栗田智貴】 潮汐破壊現象と銀河核環境: AT2023clx 偏光分光観測からの示唆【宇野孔起】

雑報: 講書始の儀【家正則】

編集委員: 日下部展彦 (編集長), 岡本文典, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 高橋葵, 田中壱, 谷川衝, 鳥海森, 中島亜紗美, 信川久美子, 橋本拓也, 福島肇, 藤澤幸太郎, 宮武広直, 宮本祐介, 守屋堯

令和8年4月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2026年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)